

# 腫瘍センター運営委員会・レジメン委員会

## Plan 計画

根拠に基づいた化学療法および全人的ケアを医師およびメディカルスタッフで適切かつ効果的に実施し患者にとって最良のアウトカムを提供する。

### 1 根拠に基づいたレジメン登録、整備

- ・エビデンスに基づいたレジメンの改訂 (状況に応じた取捨選択)
- ・他医療機関および保険薬局との連携 (連携充実加算)
- ・臓器横断的な治療の推進(MSI、NTRK 等)
- ・コンパニオン診断の普及にともなうプレジジョン・メディシン

### 2 安全な化学療法を目的とする体制作りと整備

- ・副作用の分析と事前スクリーニング(irAE・HBV 抗体/DNA)
- ・がん患者へ 24 時間対応するチーム体制の構築
- ・環境暴露の定期的評価
- ・揮発 3 剤(ベンダムスチン・シクロフォスファミド・イフォスファミド)への閉鎖式輸液セット使用

### 3 メディカルスタッフ外来の充実

- ・患者の有害事象およびアドヒアランスに対するケア(薬剤師外来)
- ・患者の精神的ケア(看護師外来)
- ・患者の栄養管理ケア(栄養士外来)

## Action 改善

- 1 化学療法レジメン委員会による報告・検討および院内周知
  - 2 有害事象の傾向に基づき対応マニュアルや行動規定を随時検討・策定。
  - 3 メディカルスタッフ外来の評価
- 継続的に評価し改善点を模索すると同時に、治療環境を整備し安全と質の向上を目指す。

## Do 実行

- 1 化学療法レジメン委員会において、ガイドラインの頻回な改訂に伴い定期的なブラッシュアップを継続する。  
他医療機関および保険薬局とのトレーシングレポート運用継続。  
FoundationOne、myChoice 等によるコンパニオン診断薬の推進
- 2 腫瘍センター運営委員会において、各種対応マニュアルおよび安全基準を設定。さらに、患者に対してシームレスに対応する体制を構築し、安全かつ良質ながん治療を提供する。また、患者サービスの一環として、待機時間の短縮等を目的としたタスクシフトを実施する。閉鎖式輸液セット使用拡大試算を実施する。
- 3 副作用の軽減、患者理解度の向上、精神的ケアおよび栄養指導を目的に薬剤師・看護師・栄養士による面談を実施。

## Check 評価

- 1 化学療法レジメン委員会事務局により各科登録件数、電子カルテ画面メンテナンスを実施。特に支持療法に関してはガイドライン改訂に改定を啓発。連携充実加算の算定状況および他医療機関からの情報提供を集約し評価する。
- 2 腫瘍センター運営委員会にて実施件数、施行基準逸脱件数、有害事象件数、同意取得状況の報告、待機患者数の報告および詳細な状況報告を委員により周知し改善点を随時検討している。必要に応じて新たなマニュアルを作成する。閉鎖式輸液セット使用拡大および廃棄等に関する評価
- 3 1年に1回、副作用毎の改善率、疑義照会率と内訳等を算出し適格にメディカルスタッフの介入が実施できているか評価する。医療経済的な評価も併せて行う。